

■原勝郎 歴史学者。暗黒時代とされてきた鎌倉・室町時代を、初めて固有な価値持つ“中世”と位置付けた。

はらかつろう

廃藩置県・・・1871＝ 岩手県盛岡で、旧南部藩土原勝多の長男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 2歳：

・・・1880＝ 9歳：

明治14年政変 1881＝10歳：

盛岡中学校，

帝国憲法発布 1889＝18歳：

第一高等学校を経て，

郡司千島探検 1893＝22歳：東京帝国大学文科大学史学科に入学，喜田貞吉・内田銀蔵・黒板勝美・幸田成友らと同期。

日清戦争始・ 1894＝23歳：

リースと坪井九馬三に師事して，ドイツ流の歴史学の方法を学び，

白馬会・・・ 1896＝25歳：卒業し，大学院に進むと同時に，志願兵として近衛歩兵第4連隊に入営。

子規句歌革新 1898＝27歳：{史学雑誌}に「吾妻鏡の性質及其史料としての価値」，

Bushidou・・・ 1899＝28歳：陸軍歩兵少尉に任官後，除隊となり，第一高等学校教授に就任，
内田と同僚になるが，軍務による遅れなどによって，常に後塵を拝するも形になりながらも，

教科書疑獄・ 1902＝31歳：*「鎌倉時代における文化の発達」「鎌倉時代新興諸宗寺院分布表」によって，文学博士。

日露戦争始・ 1904＝33歳：日露戦争が始まると再び応召，

日露戦争終・ 1905＝34歳：歩兵中尉に進級して除隊し，学業に復帰。

満鉄発足・・・ 1906＝35歳：*中世の呼称を定着させることになる主著「日本中世史(第1巻)」刊行するが，西欧に関心を移し，

韓国反日暴動 1907＝36歳：_イギリス・フランス・アメリカに留学し，

伊藤博文暗殺 1909＝38歳：_帰国すると，新設の京都帝国大学文科大学教授に就任し，西洋史を担当。

内田や三浦周行と同僚になったほか，初代の文科大学長狩野亨吉の方針もあって，幸田露伴・内藤湖南ら正規の学歴から外れた著名人が採用される環境のもと，_日本中世史についても啓蒙的著作を続け，台湾・東南アジア・ヨーロッパに短期出張しては，文明史的考察も行い，

明治天皇没・ 1912＝41歳：「昨年の欧米 一九一一年」，

第一次大戦始 1914＝43歳：「南海一見」，

21ヶ条要求・ 1915＝44歳：「欧米最近世史十講」，

民本主義・・・ 1916＝45歳：

ロシア革命・ 1917＝46歳：*学者公卿三条西実隆を軸に東山時代をあぶり出した名著「東山時代における一縉紳の生活」，

大暴落・・・ 1920＝49歳：「An introduction to the history of Japan」，

原敬首相暗殺 1921＝50歳：

水平社結成・ 1922＝51歳：_文学部長になったが，

護憲三派圧勝 1924＝53歳：_癌のため，没した。